



明けましておめでとうございます。  
本年も「広報とき」をよろしくお願ひします。  
今年は子年。十二支の始まりの年でもあります。  
皆さんにとって一層の飛躍の年となるよう、  
新しいことに挑戦してみませんか。  
そして今年1年が、  
良い年となりますように。

平成20年 年頭所感

## さらなる飛躍

土岐市長 大野信彦



新年明けましておめでとございます。  
皆さまには、ご健勝にて輝かしい新春を  
迎えられたことと、お喜び申し上げます。  
日ごろは、市政推進につきまして格別  
ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上  
げます。

昨年は、原油の高騰、アメリカでのサブ  
プライムローンの破たんなどの影響により、  
回復基調が続けてきた日本経済もやや陰り  
が見え、この地方におきましても、大手陶  
磁器商社が経営に行き詰まるなど、大変厳  
しいものとなりました。

一方、本市では長年にわたり進めてまい  
りました企業誘致により、  
土岐プラズマ・リサーチ  
パーク、土岐アクアシル  
ヴァなどの工業団地に企  
業の進出が相次いで決定  
し、新しい時代に向けて  
第一歩を踏み出す年とな  
りました。

本年は、これらの進出  
企業の工場建設、操業が  
開始されるなど、企業活  
動が活発化し、企業の進  
出が一層本格化するもの

と期待致しております。  
今時代は、急速に進む少子高齢化、人口  
の減少などの大きな変動の中で、地方分権  
改革が推進されるなど、大きな転換期を迎  
えようとしております。

昨年4月には、第2次地方分権改革推進  
委員会が発足し、5月には、地方分権改革  
推進に当たつての基本的な考え方として、「地  
方が主役の国づくり」が示され、11月には  
「中間的な取りまとめ」が公表されたこと  
であります。今後、おおむね2年以内を  
めどに勧告が出され、平成22年通常国会に  
「新分権一括法案」として提出される予定  
となっております。

これからの時代は、地方が自己決定、自  
己責任の原則に基づき、自らの街のことは  
自ら決め・自ら行い・責任を負うとともに、  
市民と行政との協働が大変重要な時代とな  
つてまいります。

新しい年を迎え、土岐市のさらなる飛躍  
のために、市民の誇りである豊かな緑と美  
濃焼の伝統を守りながら、地場産業の振興  
と新しい企業の誘致による地域の活性化に  
努めるとともに、懸案の諸事項であります、  
駅周辺の整備、学校給食センターの改築、  
防災行政無線の更新、小中学校の耐震整備

土岐アクアシルヴァ 造成風景

上下水道・道路河川の整備などに、積極的に取り組んでまいりる所存であります。

また、行財政改革を推進し、保健、福祉、医療、教育など市民生活に直結する諸施策を着実に進め、

土岐市民の皆さまに、いつまでも住み続けたいと思っただけ土岐市づくりに努めてまいります。

本年も、皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈りし、年頭のあいさつとさせていただきます。

### 平成20年 年頭所感

## 求められる議会活動

土岐市議会 議長 西尾隆久



新年明けましておめでとございます。市民の皆さまには、お健やかに初春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

今、わが国の経済動向は、未来への明るい展望を持てる状況までになったといわれ、中でも、東海地区の経済動向は活気が出つつあると期待致しております。

本市の地場産業では、先行き不透明の中、景気浮揚を図るべく、懸命の努力がなされておられ、また、一方では、恵まれた立地条件を生かした土岐プラスマ・リサーチパーク、土岐アクアシルヴァへの企業誘致が積極的に進められ、進出企業が操業を開始する年となります。

土岐市の財政状況は、依然として厳しい状況が続いており、行政システムの一層の

簡素・効率化を進めてまいらなければなりません。

多くの重要な課題が山積している現在、大野市政に変わり実質最初の年となる市政運営の中、市議会と致しましては昨年の一地方選挙において新たな議会構成に変わり、本年は、真価を問われる中、市民の皆さま方の負託に応えるべく議会活動を進めていく所存であります。そのため、昨年4月の議員定数の削減や「土岐市集中改革プラン」の検証など、さらなる行財政改革を進めています。

一昨年末の臨時国会において、地方分権改革推進法が成立し、第2の地方分権改革が確かな一歩を踏み出しました。地方分権時代にあるべき新しい地方議会を目指し、

「多様な民意の反映や住民意見の集約」を念頭に、まちづくりが強く求められています。

本市では、「いつまでも住み続けたいと思う街」を目指し前進するために、豊かな自然の象徴である緑と土岐市の基幹産業である美濃焼の伝統を守り、新しい産業の複合化を両輪とした活力あるまちづくりを、市民の皆さまとともに助け合って築き上げていかなければならないと存じます。

どうか、市民の皆さまには、市議会に對しまして、より一層のご理解とご協力をお願いし、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のあいさつと致します。

# 今年、 年男年女の 皆さんに 聞きました。

1. ネズミ年生まれの、いいところは何ですか。
2. 自分をおせち料理に例えると何ですか。
3. 今年、ぜひ挑戦してみたいことは何ですか。

23歳

1984年生まれ

加藤由佳さん(肥田町)



## 1 行動範囲が広いところ

ネズミのようにチョロチョロと動いて、すぐにどこかに出掛けたり、習い事をしたりしています。

## 2 だし巻き卵

これからも自分を磨いて、味のある人間になっていきたいと思っています。

## 3 医療系資格の取得

現在、大学在学中に取得した資格を生かし、働いています。今年は、自分のスキルアップのために医療系の資格を取り、そこで得た知識を仕事の中で役立てていきたいと思っています。



## 1 かくれんぼが得意なところ

狭くて暗い所が妙に居心地がいいから

## 2 だて伊達巻き

伊達という言葉の意味は、「粹」とか「男気」だそうで、そういう伊達な男になりたいですね。

## 3 再チャレンジ

私には3人の息子がいますが、実は自分自身も3人兄弟の長男なんです。これまで男ばかりで、いわゆる家族に女気がない人生でして、一生に一度は女の子を育ててみたいのもありますし、今年は絶妙のタイミングで女の子を……。

59歳

1948年生まれ

佐納二三子さん(妻木町)



### 1 楽天的な行動派

ネズミ年といっても千差万別ですが、私といえばじっとしていることが苦手な行動派です。楽天的で楽しくすることが大好きで、毎日明るく生きています。

### 2 伊達巻き

丸くて角がなく、色鮮やかでパッと明るくなりますよね。少し手前みそですが、まあダテに34年仕事をしているわけではないのでご勘弁を！

### 3 週1回の休肝日

挑戦といえるかどうか、お酒が好きなので週1回の休肝日を取ることに、健康診断を欠かさないことです。還暦を迎えポチポチ体をいたわってやらんと。孫たちとも、いっぱい遊びたいし、そして何より人とのつながりを大切に、人生という旅を楽しんで、みんなと笑って生きていきたいです。



47歳

1960年生まれ

古田善宏さん(泉町)



### 1 同級生

厄年の行事・PTAの役員・同窓会などみんなが力を合わせ、一つの目標に向かっていくことができたことに感謝しています。

### 2 芋の煮っころがし

若い人には人気がないが、年配の方に人気あり？

### 3 メタボリックシンドロームからの脱却

今まで、好き放題飲み食いをし、ほとんど運動もしない日が続いています。そろそろ年を考え暴飲暴食を止め、毎日1時間程度のウォーキングをしていきたいと思っています。

35歳

1972年生まれ

西村健司さん  
(下石町)

